

# にぎわいを生み出す交流の拠点へ

## 青葉通駅前エリアで新たな試みが始まります

### 仙台の顔として担う役割

都市と緑が調和する「杜の都」を代表する景観の一つとして親しまれる青葉通。その中でも駅前エリアは、東北の経済活力を生み出す中枢エリアであるとともに、各地から訪れる人々を出迎える仙台の顔としての役割も担っています。

近年、青葉通では商店会、町内会、企業等からなる「青葉通まちづくり協議会」による「青葉通まちづくりビジョン」の提言をはじめ、民間事業者による開発の動きなど、新たなまちづくりへの機運が高まっています。市においても、仙台駅を起点に定禅寺通や一番町へ導き、都心全体ににぎわいが広がる環境づくりを進めています。

こうした状況を踏まえ、令和3年6月に、今後の青葉通のあり方を官民が連携して検討するため、商工関係者、沿道地権者、交通事業者等で構成する「青葉通駅前エリアのあり方検討協議会」を設立。このエリアならではの魅力の創出により、交流人口の拡大や地域経

済の活性化につなげることを目指しています。協議会では、利活用や交通処理を軸に、将来ビジョンの策定に向けた検討を重ねています。

### エリアの魅力を高める

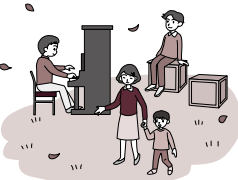
9月23日から18日間、駅前エリアの将来像を描くための試みとして、大規模な社会実験を実施します。一般車の通行止めと車線数の削減により、歩行者空間を拡大し、道路空間の利活用の効果や交通への影響、都心における回遊の創出について検証を行います。期間中は、多様な活動を生み出す空間づくりとして、芝生広場やベンチなどを設置。出会いや交流のきっかけとなるよう、さまざまなイベントを開催します。

協議会では、社会実験による交通への影響や利活用の効果などを検証し、将来のあり方をまとめていきます。今後多様な主体と連携しながら、仙台・東北の玄関口として魅力あるエリアを目指し、取り組みを進めていきます。

## 青葉通で社会実験を行います

青葉通で楽しく過ごしなが、まちの未来と一緒に考えてみませんか。

- 期間＝9月23日(祝)～10月10日(祝)
- 内容＝子どもの遊び場やポッチャ体験などのイベント、ストリートピアノの設置など



社会実験や交通規制等、詳しくは市ホームページをご覧ください

### 交通規制のお知らせ

● 期間＝9月20日(火)～10月13日(休)早朝(社会実験前後の準備期間を含む)

■ 社会実験区間 一般車通行止め

※路線バス・タクシーは通行可

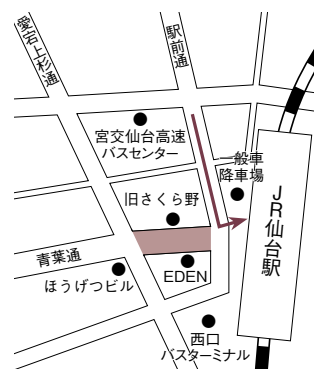
➡ 一般車降車場へのルート

※青葉通からの直進はできません

### 期間中はバス停が移転します

EDEN前のバス停が、旧さくら野とほうげつビル前に移転します

※期間中は仙台駅前周辺の混雑が予想されますので、公共交通機関をご利用ください



掲載内容は8月18日現在。新型コロナウイルスの感染状況によって、内容を変更する場合があります。この特集に関するお問い合わせは、都心まちづくり課 ☎214・8314、FAX222・2448